

整備方針・目的と事業計画概要

新潟駅周辺整備により、鉄道を挟んだ南北市街地の一体化を図り、自動車・自転車・歩行者の安全かつ円滑な交通を確保するとともに、賑わい空間の創出により「日本海拠点都市にいがた」としてふさわしい都市機能の強化を図ります。

連続立体交差事業

踏切の除却による安全性と利便性の確保と、複数の道路の立体交差化を一挙に実現するため、鉄道在来線の高架化を行っています。

幹線道路整備事業

駅周辺地区の円滑、安全な交通環境の実現に向けて、鉄道と交差する4本の**立体交差道路**と、出来島木戸線（笹出線）など**関連幹線道路**の整備を行っています。

駅前広場整備事業

新潟の陸の玄関口として、また鉄道とバスなどの交通が結びつき、それぞれの乗り換えの利便性を向上させるため、**駅前広場**と**駅直下バスターミナル（高架下交通広場）**の整備を行っています。

事業計画概要

- 新潟駅付近連続立体交差事業（鉄道高架化）
高架区間 L=約2.5 km
（撤去踏切：米山踏切、天神尾踏切…完了）
高架側道整備 L=約1.8 km
区画道路整備 N=9箇所

事業計画概要

- 立体交差道路
 - 新潟鳥屋野線 L=819m W=30m…完了
 - 新潟駅西線 L=831m W=22m
 - 新潟駅東線 L=750m W=22m
（※歩道・自転車道のみ L=144m W=5.5m）
 - 明石紫竹山線 L=766m W=18~20m
- 関連幹線道路
 - 弁天線 L=330m W=60m…完了
 - 駅南線 L=144m W=16m…完了
 - 出来島木戸線 L=1,855m W=22m

事業計画概要

- 万代広場 A=約18,600㎡…部分整備完了
- 南口広場 A=約14,000㎡…完了
- 駅直下バスターミナル（高架下交通広場） A=約4,400㎡

